

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R2-8号)

令和2年8月12日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和2年8月6、7日に伊勢湾、三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

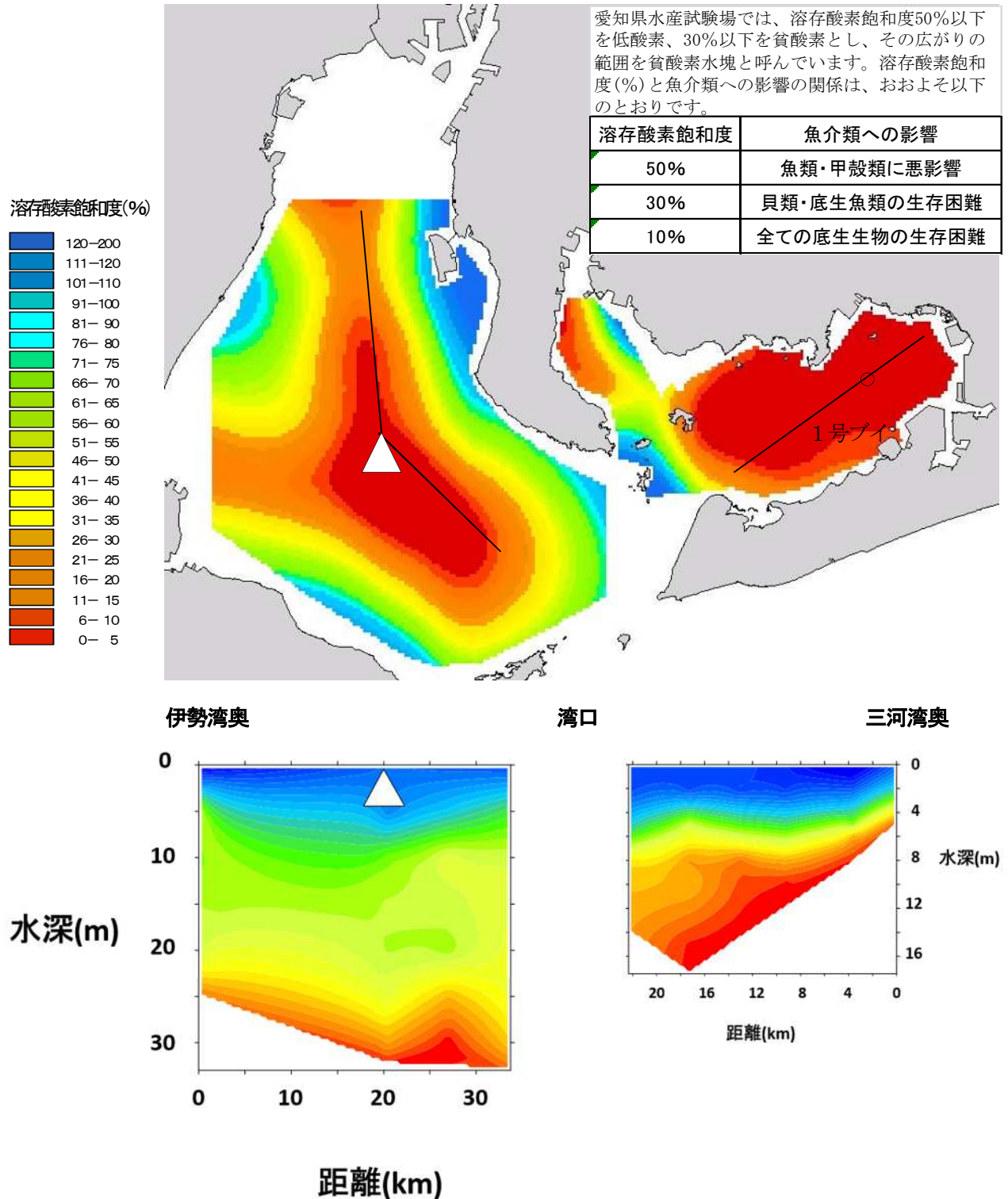


図1 伊勢湾（8月6、7日）、三河湾（8月6、7日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「海幸丸」「へいわ」調査）

伊勢湾

8月6、7日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾湾奥から湾口付近までの中央部で貧酸素水塊が確認され、規模は前回調査（7月29、31日）よりやや拡大していました。

引き続き水温・塩分躍層が発達しており、今後も表層水温が高い状態が継続するものと考えられることから、貧酸素水塊の規模は拡大するものと思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	25.4~29.6	11.5~26.0
底層	18.2~21.3	31.9~33.8

三河湾

8月6、7日の調査結果を図1に示しました。渥美湾全域に貧酸素水塊が確認され、前回調査より規模は拡大していました。また知多湾でも西部に貧酸素水塊が確認され、規模は拡大していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、8月1日に貧酸素水塊の厚さがやや薄くなったもののその後は同程度の厚みのままで継続しています。（図2）。

引き続き水温・塩分躍層が発達しており、今後も表層水温が高い状態が継続するものと考えられることから、貧酸素水塊の規模は維持するものと思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.7~30.8	9.5~24.3
底層	20.4~31.7	21.2~32.2

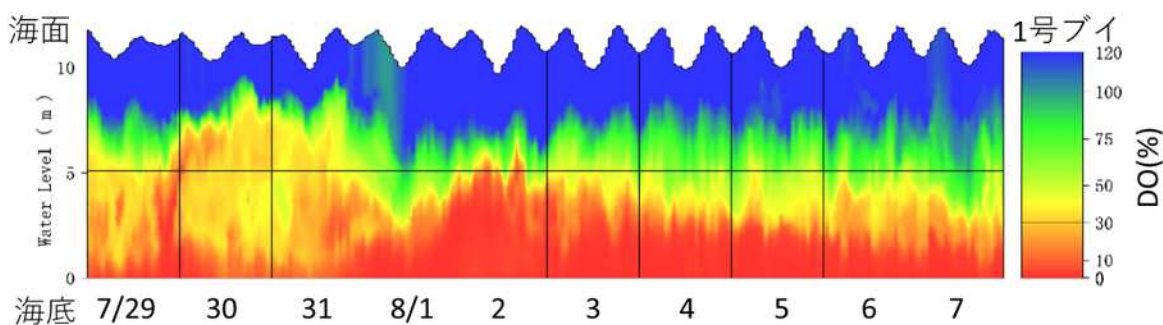


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況（図3）

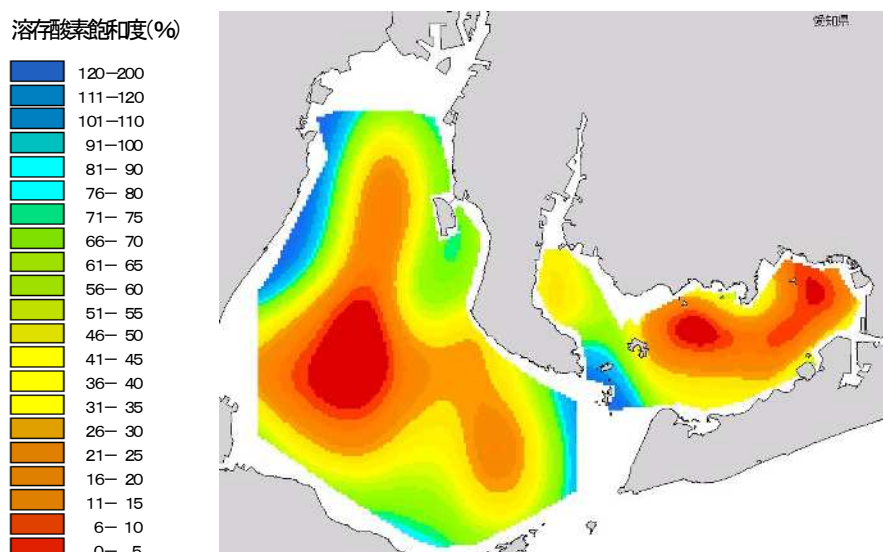


図3 令和2年7月29、31日（伊勢湾）、7月22日（三河湾）